

しぜんかがく
自然科学『すっぱりめがね』
ふじむらけんじ さく きょういくがけき
藤村賢志／作 教育画劇

もののなかみを見よう



ふしぎなふしぎなすっぱりめがね。すっぱりめがねをかけると、もののなかみが見えてしまうのです。表紙のラーメンも、汁のなかにたくさんめんが入っているのが見えますね。

時計や、車、ピアノのなかみは、小さな部品がたくさん使われていて、とっても複雑なつくりになっていることに驚かされます。

最後には家もすっぱり！家の中には何があるのでしょうか？想像してから、すっぱりめがねでのぞいてみると楽しいですよ。そして、最初から最後まで読むと、あるからくりが隠されています。そのからくり気付くことができるのでしょうか？

しよくぶつ
植物『ようこそ！葉っぱ科学館』
ただ た え こ しやしん ぶん
多田多恵子／写真・文 少年写真新聞社

葉っぱのふしぎを知ってみよう

みなさんの身近にある葉っぱ。実は、葉っぱは生きるためにたくさんの工夫をしていることを知っていますか？

例えば、みかんやゆずの葉っぱにはかおりがあります。なぜかと言うと、虫や動物はかおりのある葉っぱが嫌いなので、葉っぱが食べられないようなかおりがするようになっているのです。

また、成長するにつれて形を変える葉っぱがあったり、太陽の紫外線から葉を守るために葉の色を赤くしたり、蜜を出してアリを呼び他の虫が来ないようにパトロールさせたり、冬の寒さに耐えるために葉っぱを甘くしたり、驚くような工夫がいっぱいです。

この本を読んだら葉っぱをじっくり観察したくなりますよ。



ざつがくずかん
雑学図鑑『しらべるちがいのずかん』
おかべたかし さく やまだたかし しやしん どうきょうしょせき
／作 写真 東京書籍

ちがいがわかるかな？



この本は、生きものや食べもののちがいをくらべる本です。

例えば、「生たまご」と「ゆでたまご」のちがいは、どのようにしたら見分けることができるでしょうか？持ってみたり、回してみたり、他にも驚く方法でちがいを見分けることができますよ。

この他にも「さとう」と「しお」のちがいや、「インコ」と「オウム」のちがい、「日本の雪だるま」と「アメリカの雪だるま」

のちがい、「昔のポスト」と「今のポスト」のちがいなどを写真で見くらべることができます。びっくりする情報がいっぱい、楽しく読めますよ。

しやかい
社会『しゃかいのふしぎなぜ？どうして？』1年生・2年生・3年生
ねんせい ねんせい ねんせい

むらやまてつや かんしゅう たかはししょう
村山哲也／監修 高橋書店

社会のことを知っておこう

身の回りの気になるふしぎが楽しく分かる本です。

例えば、「なんでもものには名前があるの？」や、「どうして勉強しないといけないの？」、「仕事はどうやってみつけるの？」、「どうしたら友だちがふえるの？」、「なんでお正月におせち料理を食べるの？」、「まほうって、つかえないの？」、「じゃんけんっていつからやっているの？」などの質問に、答えてくれています。たくさんイラストも載っているのも、とっても分かりやすいですよ。

1年生～3年生まで、それぞれ本があるので、自分の学年の本を読んでみましょう。

